干渉低周波　頻尿・尿失禁治療器

ペリネスタ

Périnéesta

神経因性膀胱、不安定膀胱、神経性頻尿、ならびに
腹圧性尿失禁に伴う頻尿、尿意切迫感及び
尿失禁を改善します。

もうトイレを気にしない毎日へ。

「尿もれが気になる」「頻尿で外出が心配」など、
生活に不便を感じている方におすすめできる治療器です。



Périnéesta

ジェンダーレスで、保険適応治療

- 腹圧性尿失禁・切迫性尿失禁に効果
- 専用粘着パッドで清潔に治療
- 尿失禁治療を経皮的電気刺激で行える
- 皮膚表面で痛みが少なく、効果的に筋収縮を行う

OSHIMA INDUSTRIES co.,ltd. https://www.ooshima.me/

Périnéesta

ペリネスタ

干渉低周波　頻尿・尿失禁治療器

保険適応治療

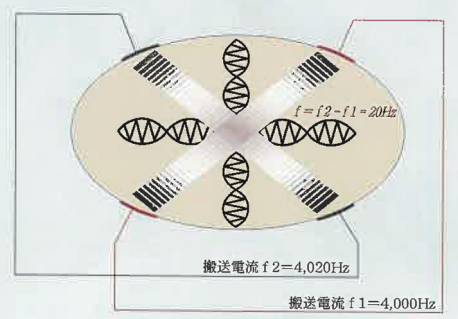
Produced by OSHIMA INDUSTRIES co.,ltd.



「尿もれが気になる」「頻尿で外出が心配」など、
生活に不便を感じている方におすすめできる治療器です。

体内深部で発生した低周波が膀胱周辺の筋肉・神経を刺激します。

Neuromodulation（ニューロモデュレーション）



干渉低周波電流を用い、専用電極を下腹部と下臀部両側に張り付けて、体内深部で発生させた50Hz以下の低周波成分は、骨盤神経の抑制反射、膀胱排尿筋・骨盤底筋を刺激して頻尿・尿失禁の治療を行う機能的電気刺激装置です。
切迫性尿失禁では、骨盤神経（副交感神経）遠心性神経の抑制反射あるいは下腹神経（交感神経）の刺激により排尿筋の収縮が抑制されます。
腹圧性尿失禁では、陰部神経を介して一部では直接、骨盤底筋を刺激します。

(1)保険治療 ジェンダーレス

ー効能効果ー

「神経因性膀胱、不安定膀胱、 神経性頻尿、ならびに腹圧性尿失禁に伴う頻尿、尿意切迫感及び尿失禁を改善する。」

ー保険適応ー

J070-2 干渉低周波による膀胱等刺激法50点

ー適応症例ー

神経因性膀胱、不安定膀胱、腹圧性尿失禁ならびに神経性頻尿に伴う頻尿・尿意切迫感及び尿失禁

(2)専用粘着パッドで清潔に治療

「粘着パッドペリネスタ専用」は、かぶれや皮膚障害の原因となる「残存モノマー量」を低減し、皮膚の角質付着が少ない肌に優しい電極です。さらに電気刺激用の高インピーダンス伝導性を有し柔軟性に優れ、密着性が高いので肌との接触不良を低減し、繰り返し貼り付けが可能です。
「粘着パッドペリネスタ専用」は個人専用パッドとしてご使用頂き、他の方への再使用を避けることで清潔な治療が可能です。

(3)併用治療が可能

・・・薬剤との作用機序が異なるので併用治療が可能

干渉低周波の作用機序は、会陰部の体性神経を会して反射的に骨盤神経の遠心性活動を抑制し、排尿収縮運動を抑制すると考えられる。
（木村敦子他　麻酔ラットの排尿機能に及ぼす干渉低周波刺激の効果 自律神経 31:316-321, 1994）

ペリネスタ 主な仕様

寸法(mm):	幅)330×奥行)241×高さ)114
重量(kg):	3.3
電源:	AC100V 50/60Hz
電源入力:	17VA
出力数:	1チャンネル
出力電流:	24mA ±20% rms（500Ω負荷時）
出力電圧:	45V ±20% rms（無負荷時）
出力波形:	正弦波、基本周波数:4000Hz
治療周波数:	10、20、50Hz（3段階切替）
治療タイマー:	5、10、15、20分（5分単位、4 段階切替）
安全装置:	出力ゼロスタート、過電流停止回路、出力ヒューズ、その他JIS規格準拠
その他の機能	電極外れ工ラー、定電流制御
承認番号:	30300BZX00059000
一般的名称:	干渉電流型低周波治療器
診療報酬点数:	処置(泌尿器科処置)J070-2干渉低周波による膀胱等刺激法50点 治療開始時点においては3週間に6回を限度、その後は2週間に1回を限度

※仕様及び寸法等は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

■製造販売元
https://www.ooshima.me
株式会社 大島製作所
OSHIMA INDUSTRIES Co., Ltd.

本　　社 〒132-0031 東京都江戸川区松島1-21-7　TEL: 03(3654)7205
関西営業所 〒578-0965 東大阪市本庄西3-7-38　TEL: 06(6744)0348
福岡出張所 〒812-0882 福岡市博多区麦野5-19-11-105　TEL: 092(592)3191
大 阪 工 場 〒578-0965 東大阪市本庄西3-7-38　TEL: 06(6744)0348

最新情報をWebサイトでクリック

⚠安全に関するご注意
●ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●定期的に機器の点検を行ってください。